

秋本真利杯若葉区選抜・佐倉リーグ選抜少年軟式野球定期戦 大会特別規則

1. 最新年度「公認野球規則」を適用する。
2. チーム構成は、代表者、監督、コーチ（3名）、スコアラー、介護員（2名）と6年生選抜18名、5年生選抜は20名、女子選抜は20名以内とする。
3. 同一チームの監督・コーチ・選手は、統一されたユニホームを着用する。但し、5年生選抜、女子選抜チームは、所属チームのユニホーム着用を認める。
4. 背番号は、監督30番、ヘッドコーチ29番、コーチ27番、28番、主将10番、選手は0番から26番とする。但し、5年生選抜、女子選抜は、背番号の重複を認める。
5. 使用球は、全日本軟式野球連盟公認「C号球」とし、金属バットは「JSBB」公認マーク入りのものに限る。
6. メンバー表は、4部提出する。
7. 試合開始前のシートノックは、後攻のチームから開始し、時間は5分とする。
8. 試合は、1試合9回均等回で勝敗を争うこととするが、タイムゲームを優先する。1試合2時間を越えた時は、新しいイニングに入らずその時点を持って勝敗を決する。同点の場合は延長戦を行わず引き分けとする。
但し、女子チームは、1試合7回均等回、試合時間1時間45分とする。
9. ベンチ入りした登録選手は、必ず一度、打席および守備に出場すること。
但し、女子チームは、ベンチ入りした登録選手全員に打順を割り振り打席に立つ。守備の交代は、一度ベンチに戻った選手でも、その後に何度も守備につくことができる。
10. 一投手の投球回数は、1試合3イニングとする。
但し、女子選抜には、適用しない。
11. 1試合のタイム数は、監督が攻守を含めて3回、選手が攻守を含めて3回に制限する。なお、守備の時は、選手が3人以上集まればタイム1回と見なす。
12. 選手の健康管理・熱中症予防のために、飲水タイムを設ける。1イニングの守備が15分を超える場合は、大会本部の判断で、球審に指示し、飲水タイムを取ることができる。
飲水に要した時間は、ロスタイムとして試合時間に追加する。
13. 審判員は、各チームから2名派遣する。

2017年6月3日 確認